

みずほCustomer Desk Report 2021/11/05号 (As of 2021/11/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.16
TKY 9:00AM	114.07	1.1616	132.49	GBP/USD	0.7469
SYD-NY High	114.28	1.1616	132.56	AUD/USD	0.7471
SYD-NY Low	113.51	1.1528	131.02		0.7383
NY 5:00 PM	113.76	1.1555	131.47		0.7400
NY DOW	36,124.23	▲ 33.35	日本2年債	-0.1000	0.00bp
NASDAQ	15,940.31	128.72	日本10年債	0.0700	▲1.00bp
S&P	4,680.06	19.49	米国2年債	0.4254	▲4.94bp
日経平均	29,794.37	273.47	米国5年債	1.1129	▲7.52bp
TOPIX	2,055.56	23.89	米国10年債	1.5288	▲7.37bp
シカゴ日経先物	29,790.00	60.00	独10年債	-0.2265	▲5.55bp
ロンドンFT	7,279.91	31.02	英10年債	0.9405	▲13.00bp
DAX	16,029.65	69.67	豪10年債	1.8720	3.30bp
ハンセン指数	25,225.19	200.44	USDJPY 1M Vol	6.03	▲0.09%
上海総合	3,526.87	28.33	USDJPY 3M Vol	6.33	▲0.08%
NY金	1,793.50	29.60	USDJPY 6M Vol	6.53	▲0.02%
WTI	78.81	▲ 2.05	USDJPY 1M 25RR	-0.10	Yen Call Over
CRB指数	233.451	▲2.34	EURJPY 3M Vol	6.55	▲0.08%
ドルインデックス	94.35	0.48	EURJPY 6M Vol	7.07	▲0.18%

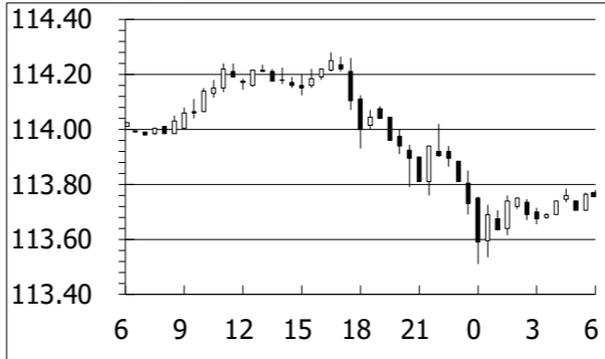
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月4日	09:30	豪 貿易収支	9月 A\$12243m	A\$12375m
	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	10月 52.4/52.0	52.4/52.0
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	9月 2.7%/16%	2.3%/15.4%
	21:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	4-Nov 0.10%	0.10%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	30-Oct 269k	275k

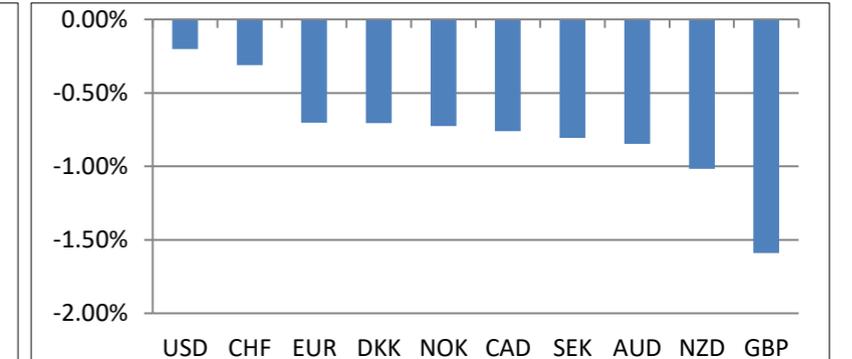
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月5日	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	9月 1.0%/1.3%	-4.0%/1.7%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	9月 0.2%/1.5%	0.3%/0.0%
	21:15	英 ラムステンBOE副総裁 講演	-	-
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	10月 450k	194k
	21:30	米 失業率	10月 4.7%	4.8%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	10月 0.4%/4.9%	0.6%/4.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.50	1.1500-1.1600	130.90-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟調な展開となった。この日の英中銀(BOE)の金融政策委員会で、利上げを見送ったことを受けた欧州の国債利回りの低下が米長期金利の低下に波及した。米10年債利回りが1.50%台に低下する動きに、ドル/円も113円台半ばまで下押しする値動きとなった。本日のドル/円は底堅い展開を予想する。昨日は米金利の低下に伴い、ドル/円は下落したものの、BOEは利上げを見送り、また、ECBのラガルド総裁も来年の利上げの可能性は低いとの認識を示していることから、対主要通貨でドルは上昇している。S&P500とナスダックは連日で最高値を更新する等、米株も堅調さを維持していることはサポート要因となり、本日のドル/円は底堅い動きになると思われる。しかし、本日は米10月雇用統計の発表を控えていることから様子見ムードが強まることも予想され、上値は限定的か。

東京	東京時間のドル円は114.07レベルでオープン。仲値にかけて上昇し、その後も小確りした値動き。前日のFOMCでのテーパリング開始、その後のパウエル議長の講演での利上げに対するハト派スタンスの確認により、米株、米金利ともに上昇したことが、堅調な推移につながった形か。米雇用統計を明日に控え上値は114.24に留まったものの、総じて底堅い推移となり、114.19レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、114.19レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎオープン後114.28まで上昇するが、米長期金利の低下に連れて下落に転ずると113.79まで売られ113.81レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3660レベルでオープン。朝方1.3670まで買われる場面もあったが、正午の英中銀政策発表を控え1.3617までじり安に、正午の発表を前に一時的に1.36半ばまで巻き戻したものの再び下落し、1.3621レベルでNYに渡った。なお、英中銀は大方の予想に反して金利据置きを決定すると午後は失望売りとなりポンドは大幅に下落した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は114.00付近でスタート。東京の仲値にかけて上昇し、その後も米長期金利が再び1.6%台に乗せたことにサポートされ、一時114.28まで上昇。しかし、米金利が低下に転じたほか、中国の不動産開発大手が自社で保証した理商品の支払いができなかったと伝わる中、リスクオフの円買いが強まり、早朝にかけて114円を割り込んだ。一時113.79まで下落し、113.81レベルでNYオープン。朝方はBOEが政策金利と資産買入額の据え置きを発表しており、一部では利上げを予想されていた中、ポンドが急落し、そのドル買いがドル円にも波及したことから114.02まで上昇。しかし、オープン前の流れを引き継ぎ、米金利低下とクロス円の軟調推移が進む中、ドル円は114円台を維持できず、再び売り優勢となり113.51まで下押し。しかし、他の通貨に対してドル高が進んでいることから下げ渋り、その後はじりじりと買い戻された。午後は113.70近辺の狭いレンジで取引。翌日に米雇用統計を控える中、様子見ムードが再び強まっており、結局、113.76レベルでクロス。一方、海外市場のユーロは1.16台前半でスタートし、明確なユーロ売りの材料は見当たらなかったものの、ユーロ売りがじりじりと進行し、1.1555レベルでオープン。朝方はBOEの発表を受けて上昇したユーロポンドに連れ高となり1.1573まで上昇するが、その後はユーロ円の下落などが重しとなり、1.1528まで反落。午後は1.1550付近で方向感無く推移し、結局、オープンと同水準の1.1555レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・木村